



～ 夢ひとすじに ～  
**宮原中だより**  
 学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和 8 年 度 第 3 号  
 令和 8 年 5 月 2 9 日 (金) 発行  
 さいたま市立宮原中学校  
 ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>  
 メールアドレス  
[miyahara-j@saitama-city.ed.jp](mailto:miyahara-j@saitama-city.ed.jp)



『靴のかかとを揃（そろ）えられる人とは』



校長 田 中 和 浩

宮原中学校の目指す生徒像の中に「靴のかかとを揃えられる人」というものがあります。これは、「靴のかかとを揃えて並べられる人」ということにほかなりませんが、この行為は単なる片付けにとどまらず、深い意味をもっています。

1 心の余裕と丁寧（ていねい）さをもつこと

玄関先で靴のかかとを揃えて脱ぐ時間をとることは、「心が落ち着いている」証拠と言えます。日常生活全般において丁寧な振る舞いができる人が多いと言われています。

2 「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という禅の教え

仏教や茶道の教えに「脚下照顧」という言葉があります。これは「他人に目を向ける前に、まずは自分の足元（自分の行動や心）をよく見つめ直せ」という戒（いましめ）です。靴のかかとを揃えることができる人は、このような謙虚さや思慮深さをもっていると言われます。

3 他者への思いやり

自分の靴だけでなく、家族や脱ぎ散らかされた他人の靴までさりげなく揃えてあげられる人は、気配りのできる人です。

4 マナーのあらわれ

訪問先などで、靴を脱ぐ際に、ただ脱ぎ捨てるのではなく、家の人に背中を向けないようにして、脱いだ靴を揃えて向きを変える動作は大人の基本的なマナーとされます。これが自然にできる人は、「礼儀正しく、育ちのよい人」という印象を与えます。

宮原中では、歴代の校長先生が、中学校での学びを通してこのような生徒に育ててもらいたいという願いを込めて、目指す生徒像を決められました。

私も同様に、本校の生徒には、このような行動ができる人になってもらいたいと考えます。

宮原中の目指す生徒像

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ① さわやかなあいさつができる     | ② 校歌を大切に、心を込めてしっかり歌える |
| ③ 靴のかかとをしっかりとそろえられる | ④ 身の回りをきれいに清掃できる      |
| ⑤ 時間の大切さを知り、時間を守れる  | ⑥ 誰かがつらい時、共感的な言葉が言える  |

★★★3年：修学旅行（旅行記）★★★

5月25日（月）から27日（水）まで、2泊3日で、京都奈良へ修学旅行へ行ってきました。

東京から京都駅に到着する新幹線の中から、初めに目に入る景色が東寺の五重塔ではないでしょうか。五重塔は、仏教の開祖であるお釈迦さまの遺骨（仏舍利：ぶっしゅり）を納めるためのお墓が起源だそうです。5月25日（月）は、春の特別公開とのことで、五重塔の中を見学することができました。東寺は、弘法大師空海が開いた真言密教の聖地として知られる一方、京都の下町にあり地域の方々から大変親しまれているお寺です。五重塔の他にも、仏像を曼荼羅（まんだら）として配した講堂も神秘を感じる見どころとなっています。

